

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 297

事務事業名	農産物販路拡大事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	原口 辰男	内線	252

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040101	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	240000	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	にんじん、いちご部会生産者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	直接消費地に出向き、大村産の農産物の消費宣伝活動を行うことで、消費者の生の声を聞き、消費者ニーズにあった生産・流通体制の構築を図ることで、農業所得の向上に波及させることを目的とする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	取引市場への販売促進活動に要する旅費を負担する。		
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① にんじん、いちごの販売促進活動回数	計画値	3	3	3	2	
		実績値	2	2	2		
	達成度	%	66.7%	66.7%	66.7%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① いちごの販売額	計画値	400,000	400,000	400,000	600,000	H27までは、みかんの販売額
		実績値	422,053	385,386	391,862		
		達成度	%	105.5%	96.3%	98.0%	
	② にんじんの販売額	計画値	130,000	130,000	130,000	130,000	
		実績値	126,024	72,324	80,728		
		達成度	%	96.9%	55.6%	62.1%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	283	117	150	103	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	283	117	150	103				
② 人件費(千円)	874	378	494	509	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.11	0.05	0.07	0.07				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,157	495	644	612				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	・にんじん販路拡大 12月に、京都のスーパーへ販売促進を行った。 ・いちご販路拡大 2月に、新潟のスーパーへ販売促進を行った。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	にんじん、いちご生産において、輸入農産物の増加や価格低迷、産地間競争等により経営状況は厳しく、これからも収益性の高い農産物の生産が求められる。 にんじん及びいちご生産者の安定した経営のためには、販売促進活動の推進を図る必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農産物振興の推進を図り、農業経営の安定に繋げるために、市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市場、及び量販店等で、大村産の農産物のPR活動を図ることは、生産性の向上と安定的な農業経営に繋がり、有効的である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	PR活動をすることで、市場へ安定供給ができ、にんじん、いちごの生産向上に繋がる。また、生産者の所得向上、農業経営の安定が図られる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】 今後の方向性 終了

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。